

第 19 回宗教文化士認定試験

記述式問題

問 それぞれの人が馴染んでいる宗教文化の適切な理解には、いろいろな場面があることへの想像力や心構えが必要になる。次の A～D の事柄のうち 2 つを選び、必ず具体的な例をあげながら、全体で 800 字以上 1,000 字程度で自分の考えをまとめなさい。

各解答文の最初に、必ず選んだ意見の記号を書くこと。また 2 つの解答の字数の割合には多少偏りがあってもかまわない。

*下書きに WORD など文書作成ソフトを用いて、字数のカウントや一時保存に用いてもかまわない。

- A 宗教によっては、ある特定の食べ物を忌避するような例がある。これについて基本的なことをおさえておくのは、とくにどのような職業や場面において必要になるか。
- B 宗教によっては、衣服に一定の配慮が必要になる場合がある。どのような宗教やどのような場合にそういう配慮が必要になるか。
- C 宗教ごとにジェンダーに関わる事柄への基本的姿勢は異なる。踏まえておいた方がいいと思われるのは、どの宗教のどのような教えや慣習だと思うか。
- D 宗教の戒律の中には宗教家だけでなく、信者全員が守るべきとされているものがある。それを知っておくことは、日常生活のどのような場面で大事になると考えるか。